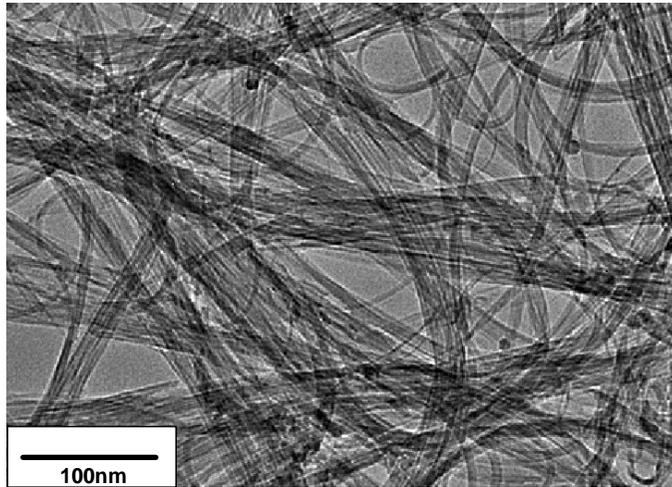
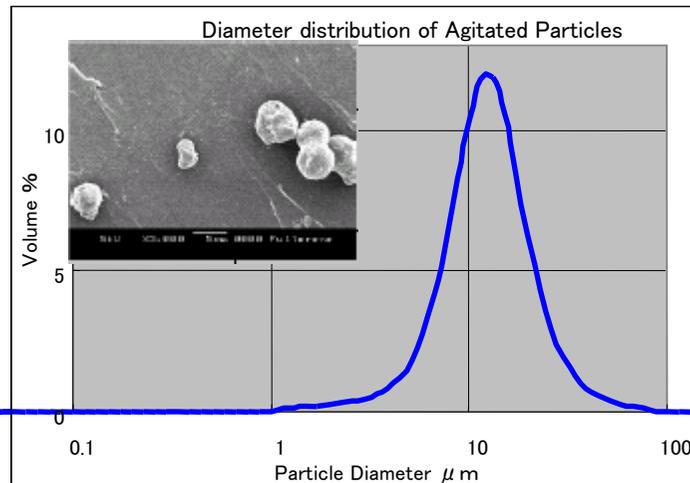


標準的ナノ試験物質とキャラクタリゼーション技術の検討

サブテーマ責任者: 原田幸明(物質・材料研究機構)



カーボンナノチューブ (Microphase Co.)



フラーレン (Frontier Carbon Co.)

キャラクタリゼーション・タスク

試験物質の標準化・供給に関する現状の把握および課題の抽出・整理

- ・化学成分(純度)・構造
 - ・大きさ・形状
 - ・表面性状
 - ・凝集状態
- など

ナノ物質キャラクタリゼーションに関する
現状の把握および課題の抽出・整理

優先試験
タスク

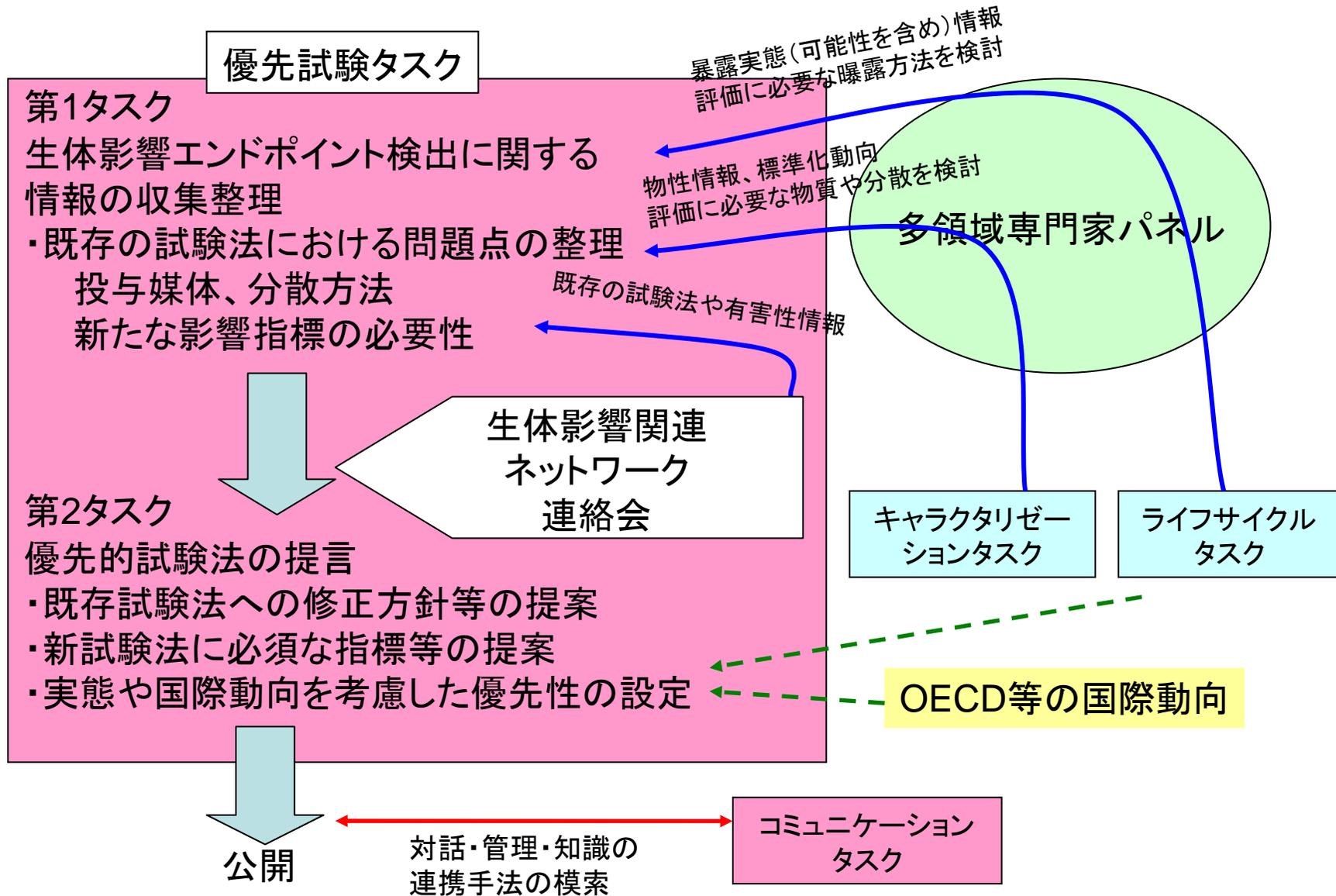
分散状態など

ライフサイクル
タスク

動態解析など

ナノ物質の生体等への影響の優先的試験事項の検討

サブテーマ責任者：広瀬明彦(国立医薬品食品衛生研究所)



ナノ物質のライフサイクル管理のための動態把握

サブテーマ責任者: 小林隆弘 (国立環境研究所)



カーボンナノチューブの廃棄
Chiu-wing Lam (2004)

主要なナノ物質

製造から廃棄までの
ライフサイクルを考
慮した曝露評価

環境中から生体内
への取り込み、生体
内での移動、蓄積、
分解などの挙動

ナノ物質の生体
影響評価

測定手法、曝露手法の検討

生体影響評価
手法の検討

専門家パネルおよび他グループ合同での曝露評価手法の検討
実測による曝露評価手法調査
専門家パネルおよび他グループ合同での体内動態解析手法調査

本調査により本格的検討の必要性や研究の方向性、予防的な対策、今後の政策等への提言が出来る。

ナノテクノロジーの技術アセスメントとコミュニケーションの検討

サブテーマ責任者: 黒田光太郎(名古屋大学工学研究科)

■ 技術アセスメントに関する検討

- 倫理・社会に関連し、長期的取り組みを要する課題を抽出・整理する。
- これまでの技術アセスメントに関する調査を行い、ナノテクノロジーの課題との関わりを検討する。
- 法制度、教育などのあり方を検討する。

■ コミュニケーションに関する検討

- ナノテクノロジーに対する期待と不安に関するステークホルダー、市民の意識に関する調査を行う。
- 対話プログラムの効果、進め方、ファシリテーターの育成、結果の活用などに関する調査を行う。

